

豊見城市いじめ問題専門委員会（第三者委員会）関連記事

回	年月日	沖縄タイムス	琉球新報	備考
第 19 回	H29 8. 7 月	<p>小 4 男児の自殺学校の対応調査 南部第三者委</p> <p>本島南部の公立小学校に通う 4 年男児（当時）が 2015 年に自宅で自殺した件で、自殺といじめの関連などを調査する第三者委員会の第 19 回会合が 7 日、開かれた。当時の校長と教頭に学校側の対応に課題はなかったのか、異なった対応をしたら自殺を防ぐことできたのかなどを聞き取りした。</p> <p>また、教育委員会職員には、学校に適切な指導をしたかどうかを確認した。委員長は、報告書の完成時期について年内を目指したいとしている。</p> <p>(8/10) P1</p>		
第 20 回	8.28 月	<p>小 4 男児の自殺 2 教員から聴取 本島南部第三者委</p> <p>本島南部の公立小学校に通う 4 年男児（当時）が 2015 年に自宅で自殺した件で、自殺といじめの関連などを調査する第三者委員会の第 20 回会合が 8 月 28 日、開かれた。当時学校に勤めていた教職員 2 人から、亡くなった児童へのいじめの有無、自殺を防げた可能性があるのか、同校のいじめへの対応などを聞き取りした。</p> <p>委員長によると、報告書の完成は来年 3 月以降になる見通し。</p> <p>(9/2) P3</p>	<p>豊見城男児自殺調査報告年明け 第三者委見通し</p> <p>豊見城市内の小学 4 年の男児が 2015 年 10 月に自殺した問題で、豊見城市教育委員会が設置した第三者委員会は 28 日、市役所で 20 回目の会合を開いた。報告書の完成時期について、委員長の天方徹弁護士は「年度内にできればと思う」と述べ、年明けになる見通しを示した。</p> <p>天方弁護士によると 28 日は、事故当時児童が通っていた学校の教職員 2 人に聞き取りをした。今後、新たな調査を実施する予定で、調査の結果によっては、報告者の完成がさらに遅れる可能性もあるという。</p> <p>(8/30) P2</p>	

第 21 回	9.25 月	<p>小 4 男児の自殺遺族が情報提供 本島南部第三者委</p> <p>本島南部の公立小学校に通う 4 年男児が 2015 年に自宅で自殺した件で、自殺といじめの関連などを調査する第三者委員会の第 21 回会合が 25 日開かれ、前回会合以降に実施できた分の調査結果について話し合った。また、第三者委が把握していなかった遺族からの新たな情報提供もあった。</p> <p>次回会合では調査結果の全てが報告されるほか、報告書の内容についても議論する。委員長によると、報告書は年度内に完成する見通しという。</p> <p style="text-align: center;">(9/27) P4</p>		
第 22 回	10.17 火	<p>小 4 男児自殺新たな情敵も 南部第三者委が報告</p> <p>2015 年、本島南部の公立小学校に通う 4 年男児が自宅で自殺した件で、自殺といじめの関連などを調査する第三者委員会の第 22 回会合が 17 日に開かれた。男児と同じ階にいた当時の小 4、5 年と保護者 241 組を対象にいじめの目撃情報、男児が亡くなった後の子どもの状況などのアンケート結果が報告された。</p> <p>また、市教委関係者 1 人に聞き取りを実施。いじめに対する認識、自殺後の学校への指導の在り方、その背景にある市教委の考え方のほか、旧第三者委員会設置当時の状況も確認した。</p> <p>委員長は「いじめに関する新たな情報もあり、可能な範囲で事実かどうか確認したい」と述べた。報告書は、来年 3 月ごろを目標に完成させる考えという。</p> <p style="text-align: center;">(10/19) P5</p>		